

既存システムの資産規模・特性の把握と、事例を中心とした情報提供により、マイグレーションのイメージ理解、費用感の把握を支援します。

「有識者がいない。マイグレーションできるか不安…」  
「投資費用はどのくらい？」「リスクはどのくらい？」の声にお応えします。

マイグレーションのお悩みや不安をお持ちの方に、マイグレーションを成功させるポイントをご紹介します。

## コスト

投資費用はどのくらい？

## 品質

マイグレーションすることで不良はたくさん出ない？

## 維持管理

設計書がないものや内容が古いものは大丈夫？

## 期間

現行運用機器のリース期間内に移行できる？

## マイグレーションを成功させる3つのポイント

### 1 既存資産の規模の把握

既存資産の規模を把握することで、マイグレーションにおける作業量や、次期システム稼働後の保守費用がわかります。

### 2 既存資産の特性の把握

既存資産の特性を把握することで、マイグレーションの難易度が明確になります。

### 3 最適な移行方式の検討

資産の分析結果に基づいて移行方式を検討することにより、あらかじめ発生しうる問題や課題を整理できます。

資産の把握および最適な移行方式の検討により、この先に必要となる費用や問題・課題を明らかにでき、安定したシステム移行と問題点の早期解決につながります。

## 入念な準備がマイグレーションを成功に導く

上記の3つのポイントを押さえるためには、マイグレーションを始める前の準備が重要です。「マイグレーション分析診断サービス」では、マイグレーションのプロセスに入る前に、資産の調査や移行性を分析します。これにより、効果・コスト・リスクを明らかにします。

### 分析診断サービス

- 簡易資産調査
- 簡易移行性分析



### マイグレーションのプロセス

要件定義

AP方式設計・  
コンバージョン  
開発

テスト

オープン化  
システム運用  
設計

システム  
環境構築

データ移行&  
業務移行

## ■ マイグレーション分析診断サービスの流れ

移行対象の資産（ソースプログラム、実行JCL、画面定義、帳票定義など）をご提供いただき、簡易資産調査、簡易移行性分析を行います。調査・分析を基に、分析結果を報告書にまとめてご報告します。



### ● 成果物：「分析結果報告書」

#### 資産調査結果

- ・ 資産の規模の内訳
- ・ 有効資産、使わない資産
- ・ 調査結果のエビデンス資料 (提供資産の種類・規模・移行要否)

#### 移行性評価

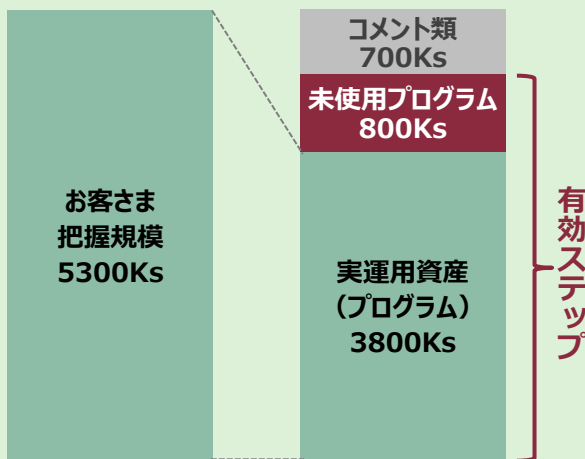
- ・ 移行に伴って改修が必要な箇所
- ・ 総評
- ・ あい路事項

## ■ マイグレーション分析診断サービスの具体的な効果

### 既存システムの実運用資産規模の把握

効果・コスト

ある事例では、本サービスを適用した結果、お客さまの想定する資産規模に対して、実際に必要な資産は約70%であることがわかりました。対象規模の実態がわかり、作業量の削減につながりました。



### 考慮点・問題点の把握

リスク

マイグレーションの適用にあたり移行性についてレポートします。あい路事項を事前に把握できるため、マイグレーションを始める前に、課題や問題への対策を事前に検討できます。これにより、マイグレーション時の問題発生を予防できます。



### 予算化の支援

コスト

分析診断の調査結果を基に、概算見積を作成し、マイグレーション実施に向けた予算化を支援します。



株式会社 日立社会情報サービス

<https://www.hitachi-sis.co.jp/>

ソリューション・製品に関するお問い合わせ

ソリューション・製品サイト

<https://www.hitachi-sis.co.jp/service/system/migration/>

HSIS-157

2022.3